３　特別会計

特別会計に係る決算の状況については下表のとおりである。このうち主要９会計につ

いて、P.58以降に取り上げた。

(1)　歳入歳出決算の状況



　注：数値が0となっている項目は、百万円未満の数値があることを示す。

特別会計の歳入決算額は１兆135億6,800万円で、前年度と比較して73億1,500万円、0.73％増加している。また、歳出決算額は１兆30億400万円で、前年度と比較して72億5,800万円、0.73％増加している。

歳入、歳出の増加は、公債管理特別会計における増加を主な要因としている。

３　特別会計

　　特別会計に係る決算の状況については下表のとおりである。このうち主要な９会計について、P.24以降に取り上げた。



なお、当該年度の実質収支98億円は、前年度の95億200万円と比較して２億

9,800万円増加している。

(2)　流域下水道事業特別会計

流域下水道施設及び流域汚泥処理施設の整備並びに維持管理事業の収支を経理するために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額680億8,800万円に対し、収入済額は668億3,800万円となっている。

収入済額と支出済額との差額16億8,100万円のうち、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は９億4,100万円の黒字となっている。

収入済額の主なものは、流域下水道費負担金192億7,600万円、一般会計からの繰入金179億8,600万円、府債127億4,600万円となっている。

支出済額は、651億5,800万円で、主なものは流域下水道費625億9,800万円、建設費25億6,000万円となっている。

(3) 港湾整備事業特別会計

港湾事業のうち収益事業の収支を経理するために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額118億7,200万円に対し、収入済額は119億4,200万円となっている。

収入済額の主なものは、府債40億4,500万円、公債管理特別会計繰入金29億9,200万円、港湾施設使用料26億2,900万円となっている。

支出済額は116億6,600万円で、主なものは公債管理特別会計への繰出金93億1,700万円、負担金、補助金及び交付金10億2,100万円となっている。

(4) 関西国際空港関連事業特別会計

関西国際空港関連事業を効率的に推進するために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



注：数値が0となっている項目は、百万円未満の数値があることを示す。

予算現額152億3,500万円に対し、収入済額は152億2,800万円となっている。

収入済額の主なものは、府債85億7,200万円、一般会計からの繰入金37億700

万円、公債管理特別会計からの繰入金21億7,900万円である。

支出済額は152億2,800百万円で、主なものは償還金、利子及び割引料141億

1,300万円、公債管理特別会計への繰出金10億8,600万円である。

(5)　箕面北部丘陵整備事業特別会計

箕面北部丘陵整備事業（水と緑の健康都市事業）を効率的に推進するために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額58億6,600万円に対し、収入済額は55億5,500万円となっている。

収入済額の主なものは、一般会計からの繰入金46億7,700万円、保留地処分金５

億7,100万円である。

支出済額は55億5,500万円で、主なものは土地区画整理事業費にかかる償還金、

利子及び割引料33億3,100万円、水と緑の健康都市第一期整備等事業委託料14億

3,600万円である。

(6)　公債管理特別会計

府債の発行及び償還事務を行うために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



（元利償還金の推移）



予算現額8,648億2,600万円に対し、収入済額は8,647億6,400万円となっている。

収入済額の主なものは、府債（借換債）3,082億2,600万円、他会計からの繰入金

3,391億8,600万円である。府債（借換債）は前年度に比べ、461億6,100万円減少

している。支出済額は8,638億900万円で、主なものは府債元利償還金6,596億2,600

万円である。

(7) 市町村施設整備資金特別会計

府内市町村の公共施設等の整備を促進するため、資金の貸付けを行うために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額253億200万円に対し、収入済額は252億9,700万円となっている。

収入済額の主なものは、貸付金元利収入109億1,300万円、公債管理特別会計繰入

金75億円である。

支出済額は247億8,900万円であった。主なものは公債管理特別会計への繰出金

143億7,300万円、一般会計への繰出金89億1,300万円、市町村施設整備資金貸付

金14億9,400万円である。

(8) 証紙収入金整理特別会計

証紙による収入の方法により徴収した自動車運転免許証交付手数料、狩猟税などを整理するために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額115億500万円に対し、収入済額は110億900万円となっている。

収入済額の主なものは、証紙売払収入106億7,800万円である。

支出済額は106億8,700万円で、主なものは一般会計への繰出金106億8,100万円

である。

(9) 母子寡婦福祉資金特別会計

母子及び寡婦福祉法に基づき、母子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付けを行うために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額12億1,200万円に対し、収入済額は13億5,700万円となっている。

収入済額の主なものは、貸付金元利収入５億5,900万円、前年度繰越金３億8,700

万円、府債２億7,300万円である。

支出済額は８億5,900万円で、主なものは貸付金８億5,800万円である。

(10) 中小企業振興資金特別会計

小規模企業者等設備導入資金助成法及び独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、府内の中小企業者に対し設備の近代化や企業構造の高度化に要する資金の貸付けを行うために設けられた会計である。

（　歳　入　）



（　歳　出　）



（実質収支の状況）



予算現額47億5,500万円に対し、収入済額は103億3,600万円となっている。

収入済額の主なものは、前年度繰越金53億1,400万円、貸付金元利収入49億

6,000万円である。

支出済額は46億3,300万円で、主なものは府債償還金25億8,600万円、貸付金

10億100万円である。

収入未済額は13億4,900万円である。そのほとんどは貸付金元利収入13億4,700

万円で、前年度と比較して2,100万円減少している。